

こんにちは

# 会社訪問記

安全、誠実、優れた技術をモットーに  
お客様よろこばれる仕事を展開しています。



社内

## 株式会社佐藤粘土店

(名古屋市天白区)

井戸や温泉の鑿泉用粘土販売を手がけていらっしゃる株式会社佐藤粘土店にお伺いし、事業内容等を佐藤社長にお話をいただきました。

——鑿泉用粘土販売を行われているようですが、  
主な事業内容を教えていただけますか。

佐藤社長 (以下佐藤に略)

『創業当初は井戸掘りに使う粘土の販売を手がけていましたが、地下水の汲み上げに対する規制が出てからは主力業務を土木業に切り替え、土木一式を行っております。現在は、土木業3に対して井戸関係1の比率ですね。』



佐藤社長

——産業廃棄物は、どの品目を取扱っていらっしゃいますか。

佐藤『汚泥と建設廃材、汚水を取扱っています。汚泥と建設廃材は、自社の土木作業から出るものと粘土を販売した先から出る不要粘土の回収を行っています。汚水は工場の水槽清掃から出るものです。粘土に関しては自社で許可を取り対応しています。』

——土木業といえば、建設廃材等の処理問題のみならず周辺の住民や環境への配慮が大変だと思えますが、どのように対処されていますか。佐藤『まず、工事現場近くの地域住民の皆さんのご迷惑にならないよう、常に気をつけることです。作業時間は朝の9時から夕方4時30分までとできる限り短く、日曜日の作業は避ける。ホコリや振動、騒音には細心の注意を払って抑えるよう心がける。以上のことを忘れず、適正な業務が遂行できるよう努力しています。』

——リサイクルに関してはどのようなご意見をお持ちですか。

佐藤『できる限り積極的に取り組むべきだと思

いますね。当社の場合、粘土のリサイクルが主力になるわけですが、いま現在行っている方法ではどうしても小石等が混入してしまうため、まだまだ改善の余地を残している段階です。最高品質の再生粘土をつくるにはもう少し時間が必要かもしれません。粘土も貴重な資源ですから、最大限有効に利用したいと思います。』

——会社の運営指針を教えてくださいませんか。

佐藤『安全に、誠実に、優れた技術でお客様のご要望にお応えすることです。どんな仕事に対してもこの姿勢を貫き通すことが運営指針といえるでしょうね。』

——では、最後に今後の事業計画等をお聞かせいただけますか。

佐藤『現在、粘土の天日乾燥施設を計画中です。また土木業以外にも、産業廃棄物処理関係の業務もどんどん増やしていけるよう、許可講習会にも参加していく予定です。』

長島温泉の工事も手がけられ、井戸とボーリング関係の仕事にはめっぽう強い株式会社佐藤粘土店。趣味は釣りですと明るく応えていただいた佐藤社長。気さくでさっぱり人柄が印象的な方でした。



社名/株式会社佐藤粘土店 所在地/名古屋市天白区池場1丁目503番の1  
代表者/佐藤 稔 創業/昭和20年 従業員/12名 TEL/052 (801) 3255  
モットー/「安全、誠実、優れた技術」 事業所/本社  
営業種別/収集運搬 取扱い品目/汚泥、建設廃材